認知症への理解と高齢者への支援
認知症サポーター養成講座

「認知症にやさしいまちづくり」

高齢化が進む現在、高齢者の4人に1人が認知症または予備軍と言われています。私たちの住む左京区でも認知症高齢者の行方不明などが起こっています。高齢者の認知症についてみんなで学び、地域で認知症の人やその家族の手助けができればと考えます。

このたび、左京北地域包括支援センターと京都ノートルダム女子大学共催で、「認知症サポーター養成講座」を実施し、地域の方々と学生とがともに学び、交流する機会としたいと思います。

誰しも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることを望んでいます。“たとえ認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる街づくり”を一緒に考えましょう。

日時 7月22日（火）16：35～18：05

会場 大講義室（京都ノートルダム女子大学 ユージニア館３階）

※ 事前申込不要・参加費無料

プログラム

- 認知症についての理解と支援
  講師：京都市左京北地域包括支援センター
- 認知症の人やご家族に私たちができること
  講師：認知症の人と家族の会京都府支部
  世話人　小笹　佳会子　氏
- グループワーク ―自分たちは地域で何ができるか―

今回の学習会は、「認知症サポーター養成講座」を兼ねています。
はじめて受けられた方にはサポーターの証「認知症サポーターカード」をお渡しします。
認知症サポーター養成講座を受講した人が「認知症サポーター」となります。
認知症サポーターは認知症について正しく理解し、
認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

認知症サポーターの証 サポーターカード

主催：　高齢サポート･左京北（京都市左京北地域包括支援センター）／ 葵･下鴨学区高齢者SOSネットワーク会議
　　京都ノートルダム女子大学
問合せ：京都ノートルダム女子大学 学事課　（075-706-3661）

（2025年6月）